

サービス業従事者の増加傾向が続く

～平成17年国勢調査「第3次基本集計結果」(横浜市分)より～

<http://www.city.yokohama.jp/me/stat/index.html>



I 職業

サービス業従事者が増加

サービス業従事者の増加率

15.3%

15歳以上の就業者を職業大分類別にみると、平成12年と比べて「サービス業従事者」が15.3%増と大きく増加しています。一方、「管理的職業従事者」20.8%減と最も減少率が大きくなっています。

(P2 参照)

II 就業時間

運輸・通信従事者が長い

運輸・通信従業者の平均就業時間

47.5時間

15歳以上就業者の平均就業時間を職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が47.5時間で最も長く、次いで「保安職業従事者」が46.0時間となっています。

(P9 参照)

III 母子世帯・父子世帯

大都市で3番目に低い母子世帯割合

母子世帯の割合

1.14%

一般世帯に占める母子世帯の割合を大都市で比べると、横浜市は1.14%で、川崎市の1.04%、東京都区部の1.09%に次いで3番目に低い割合になっています。

(P11 参照)

IV 世帯の経済構成

非就業者世帯が大幅に増加

非就業者世帯の増加率

27.3%

一般世帯 144 万 3350 世帯のうち、世帯に就業者がまったくいない「非就業者世帯」が 33 万 6229 世帯（一般世帯の 23.3%）を占めており、平成 12 年に比べ 7 万 2163 世帯、率にして 27.3%と大幅に増加しています。

(P15 参照)

V 従業・通学時の世帯の状況

高齢者のみ在宅世帯が増加

高齢者のみ在宅世帯の増加率

28.4%

平成 17 年の住宅に住む一般世帯 140 万 4039 世帯のうち、世帯員が通勤・通学中に在宅者が「高齢者のみ」になる世帯が 26 万 8921 世帯（住宅に住む一般世帯の 19.2%）であり、平成 12 年に比べると、5 万 9412 世帯（28.4%）増加しています。

(P17 参照)

VI 親子の同居

9割以上の夫婦が親と別居

夫婦の親との同居率

7.0%

平成 17 年における総人口 354 万 5447 人（年齢不詳を除く）のうち、親と同居している人は 120 万 2994 人で、親との同居率は 33.9%となっています。

配偶関係別にみると、有配偶ではわずか 7.0%で、93.0%の夫婦が親と別居しています。

(P18 参照)